

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	227	1年	後期	看護学科	必修	メンタルヘルス論 Mental Health	15	1
担当教員								
越智 百枝								
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
人々の心の健康を保持・増進すること、疾病を予防するための看護の考え方や活用できる理論を身につける。また援助者自身のメンタルヘルスについて理解し、自身の心の健康を保つ行動を身につける。								
到達目標（授業目標）								
心の健康やライフサイクルで起こりやすい心の健康問題について理解し、心の健康を守るための有用な理論を学ぶ中で看護としてどのようにそれらの理論を活用できるかについて学習を深める。								
1 精神看護の目的や役割と機能を理解する。								
2 心の健康を理解するための理論を理解し身近な対象に適用することができる。								
3 ライフサイクルで起こりやすい心の健康問題を理解する。								
4 心の健康を守るために有用な理論を理解する。								
5 看護師のメンタルヘルスについて理解し、自身のメンタルヘルスに関心を持つ。								
本講義では事前に次回講義内容についてのレポートの提出を求め、講義時には、自己学習した理論について質疑やグループワークを行いながら解説し								
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	ガイダンス 心の健康とは 精神看護の目的と機能 「心の健康とは、精神看護の目的、精神看護の役割と機能」							
2回	日本の精神保健の現状							
3回	精神保健・医療・福祉に関する法制度と仕組み							
4回	心の健康を理解するための理論 「防衛機制 — 精神分析理論」							

5回	心の健康を理解するための理論 「心の発達 ― 発達理論（エリクソン）」
6回	心の健康を守るために有用な理論 「危機理論、ストレス・コーピング理論」
7回	心の健康を守るために有用な理論 「グリーフワーク」
8回	看護師のメンタルヘルス 「看護師のバーンアウト」
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

授業への参加状況（10点）、受講前に課すレポートの内容（次回講義で行う理論についての概要および身近な事例への適用）（40点）、筆記試験（50点）により評価する。トータル60点以上を合格とする。  
 授業終了時の確認テストは、理論を現象に適用できるかを確認するため、講義時の資料を見て現象に適用できているかを評価する。筆記試験は授業目標に掲げる内容を何も見ないで記述できるかどうかを評価する。

教科書	野嶋佐由美「明解看護学双書3 精神看護学 第3版」（金芳堂）
参考図書等	

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

初日のガイダンス及び授業時間内に次回の授業を受講するために必要な自己学習の内容を提示する。3-8回目の授業を受講するために準備学習の時間が1回について2時間程度必要である。

関連科目

前科目									
後科目	228	精神看護対象論	229	精神看護方法論	230	精神看護学実習			

実務家教員

保健師（行政機関）	越智 百枝						

備考	
----	--